

研究主題 「グローバルキャリア人としての資質・能力を育成する中等カリキュラムの研究と授業の創造」											
〈日時〉 平成 27 年 2 月 6 日 (金)			〈場所〉 神戸大学附属中等教育学校住吉校舎								
〈主催〉 神戸大学附属中等教育学校			〈後援〉 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会								
〈タイムスケジュール〉 * (音・美の研究協議は 11 時 05 分～12 時 25 分です。)											
受付	全体会	公開授業 I	休憩	公開授業 II	休憩	研究協議	休憩	講演会	シンポジウム	終了	
8:45	9:15	10:00	10:50	11:05	11:55	12:45	14:05	14:15	15:15	16:25	16:30
●講演会 多田 孝志 教授 (目白大学大学院 言語文化研究科) 「演題: グローバル時代の人間形成と学習方法」											
●シンポジウム テーマ: 「高等学校における『グローバル教育』の展開: 達成と課題」 司会 石川慎一郎 教授 (神戸大学国際コミュニケーションセンター・大学院国際文化学研究科) パネリスト 大谷 創一 主幹教諭 (岡山県立岡山城東高等学校) 茶本 卓子 教諭 (神戸市立葺合高等学校) 岩見 理華 教諭 (神戸大学附属中等教育学校)											

公開授業

教科	時	学年	授業者	授業紹介	教科の研究テーマ	指導助言者
国語	I	5年	【現代文B】 岸本 知之	【小説「こころ」夏目漱石】 Kが自殺するに至った経緯、その間の「私」の心の動きを振り返り、K及び「私」の自殺について、「近代的自我」の視点から考えさせます。	「生きて働く国語力」を実現する総合単元学習	目黒 強 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
	II	4年	【国語総合/現国】 杉山 浩一	【文化について考える】 異文化をどのように理解すべきかについて、協同学習 (班別学習や討議等) を通じて気づかせます。		
社会	I	5年	【世界史B】 齋木 俊城	【キリスト教とヨーロッパ世界の形成】 中世西ヨーロッパ世界が形成されていく過程を図表等の資料を用いて授業を行います。中世と現代社会との相違点にも着目させます。	情報リテラシー授業の開発	三田 耕一郎 (神戸市教育委員会) 吉永 潤 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
	II	1年	【社会】 上村 幸	【南アメリカ州】 南アメリカの開発と自然環境の変化について資料から読みとります。また、自分たちの生活とのつながりや開発がもたらす影響を考えさせます。		
数学	I	3年	【数学】 佐伯 源太郎	【課題学習】 「三平方の定理」など中学3年生で習う知識を駆使して課題に取り組む特設の授業を行います。数学的コミュニケーションを活性化させる授業展開を試みます。	数学的コミュニケーション能力の育成を目指した授業展開の工夫	高橋 謙嗣 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科) 岡部 恭幸 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
	II	5年	【数学II】 中田 雅之	【極限】 「極限」について図形的視点から思考します。図形表現をグループで発案・検討したり、全体で議論したりして数学的コミュニケーションを図ります。		
理科	I	1年	【理科】 副島 麻衣	【力による現象】 力による現象について、身近なものを用いて圧力を求めます。また、協同学習を重視し、生徒が主体的に学習する授業を提案します。	サイエンスリテラシーの育成を目指した中等教育6年間カリキュラムの構築とその実践	伊藤 真之 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科) 佐藤 春実 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
	II	4年	【物理基礎】 若杉 誠	【探究活動 (重力加速度の測定)】 指導要領の末尾「探究活動」に挑戦します。一年間の集大成として、自ら設計した手法に基づく実験を行わせることで、サイエンスリテラシーを統合的に育成します。		
音楽	I	1年	【音楽】 森瀬 智子	【混声三部合唱】 協同学習を用いた聴く力を伸ばす合唱のパート練習の方法を提案します。	生涯にわたり多様な音楽に親しむことのできる音楽力の育成	斉田 好男 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
美術	I	1年	【美術】 正井 裕子	【UD～身につけたくなる素敵な補助具～】 グローバルキャリア人に必要な基本的な人権感覚を身につけるとともに、すべての人が自分らしさを表現し、多様性を認め合いながら生きることの大切さを学びます。	美術表現と鑑賞を通じて社会と関わる力を身につけるための授業作り	鈴木 幹雄 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
体育	I	2年	【保健】 前田 愛純	【運動神経って何だろう！？】 運動神経に関する基本的な知識と理解を深めるとともに、リズム・反応・定位など、運動を構成する要素を学習し、自己の運動能力について分析します。	ヘルスプロモーションの資質・能力の育成～発達段階に応じた保健カリキュラムの編成～	高田 義弘 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
	II	4年	【保健】 岡井 理香	【身体運動のメカニズム】 解剖学と身体運動に関する基本的な知識を踏まえ、日常で意識することなく継続的に行っている“歩行”を取り上げ、自己と他者の身体運動を分析します。		
ESD	I	3年	【ESD】 森田 育志	【グローバル化と人間の安全保障】 「人間」の安全を脅かすさまざまな脅威とグローバル化を結びつけて考え、人間の安全保障に対して日本が貢献できることは何かを論議します。	グローバルキャリア人育成のための5つの力 (見つける力・調べる力・まとめる力・発表する力・考える力) の育成	多田 孝志 (目白大学大学院 言語文化研究科)
道徳	II	2年	【道徳】 中川 雅道	【子どものための哲学 Philosophy for Children】 クラス全員で円を作って、哲学的な問いについて考える子どもの哲学の時間。道徳、道徳的価値について対話し、思考する授業を行います。		
英語	I	4年	【コミュニケーション英語 I】 大八木 優子	【異文化理解】 南アジアを舞台とした物語文を題材として扱う。南アジアの文化や人々の価値観への理解を深めながら、本文に書かれている記述を読み込んでいく。	プレゼンテーション能力の育成を中心とした中等教育6年間カリキュラムの構築 本校独自の熟達度尺度の検証、および英語科設定のグローバルキャリア力育成	大和 知史 (神戸大学国際文化学部 国際コミュニケーションセンター) 松浦 新法 (神戸市立須佐野中学校) ベネッセコーポレーション (情報提供者)
	II	1年	【英語】 興津 紀子	【物語文】 英語多読教材を用いた教師の読み聞かせによる英文内容理解活動と、本校のグローバルキャリア人に関わる「共感力」の育成を目指した授業を行います。		
GLOBAL 発表	I	4年		【グローバル発表会】 生徒が国際交流 (シアトル) ・留学生交流会・神戸大学連携リレー講座・ジオパーク学会発表など個々の取り組みを発表報告し、様々な活動に対する取り組みの状況や思いを共有することで、主体的にグローバルキャリア人を目指す姿勢を培います。		

参加申し込みについて 別紙 申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスで平成 27 年 1 月 30 日 (金) までにお申し込みください。